

## SNW対話イン宮崎大学 2017(地層処分) 事後アンケート結果 (平成 29 年 4 月 25 日開催)

纏め：廣 陽二

### 1. アンケート回答者 . . . . . 78 名

(内訳)

- ・工学部 . . . . . 40名
- ・農学部 . . . . . 21名
- ・医学部 . . . . . 7名
- ・教育学部 . . . . . 6名
- ・地域資源創成学部 . . . 3名
- ・不明 . . . . . 1名

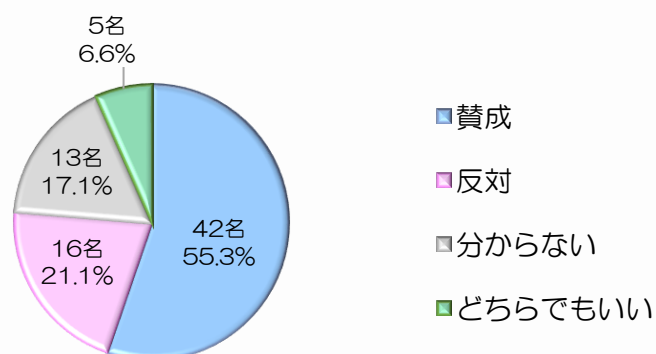
### 2. 対話会について

#### (1) 日本における原子力発電所の再稼働について

賛成 . . . . .	42名 (55.3%)
反対 . . . . .	16名 (21.1%)
分からない . . . . .	13名 (17.1%)
どちらでもいい . . . . .	5名 (6.6%)

「賛成」の回答が55.3%で、「反対」の21.1%を大きく上回った。

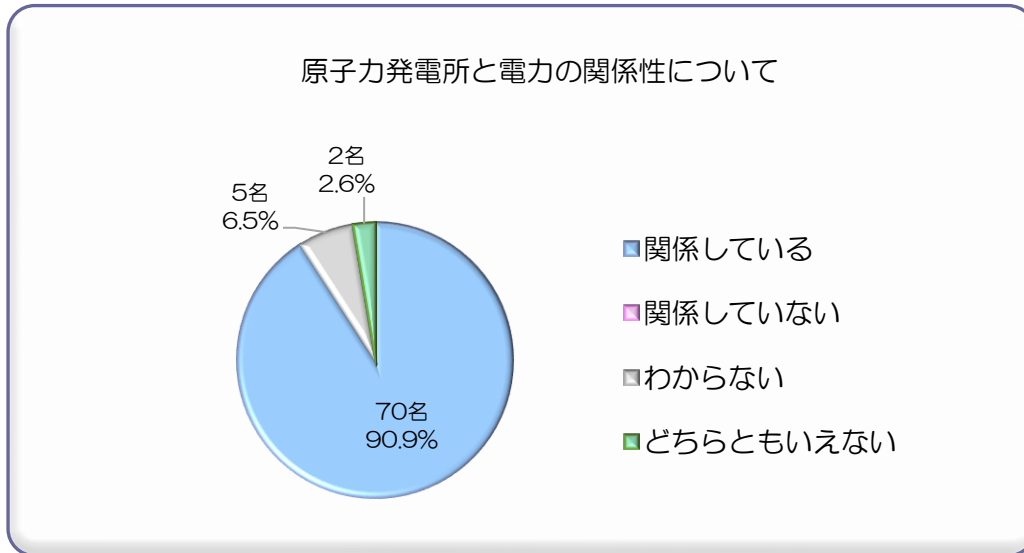
日本における原子力発電所の再稼働について



## (2) 原子力発電所と電力の関係性について

関係している	70名 (90.9%)
関係していない	0名 (0.0%)
わからない	5名 (6.5%)
どちらともいえない	2名 (2.6%)

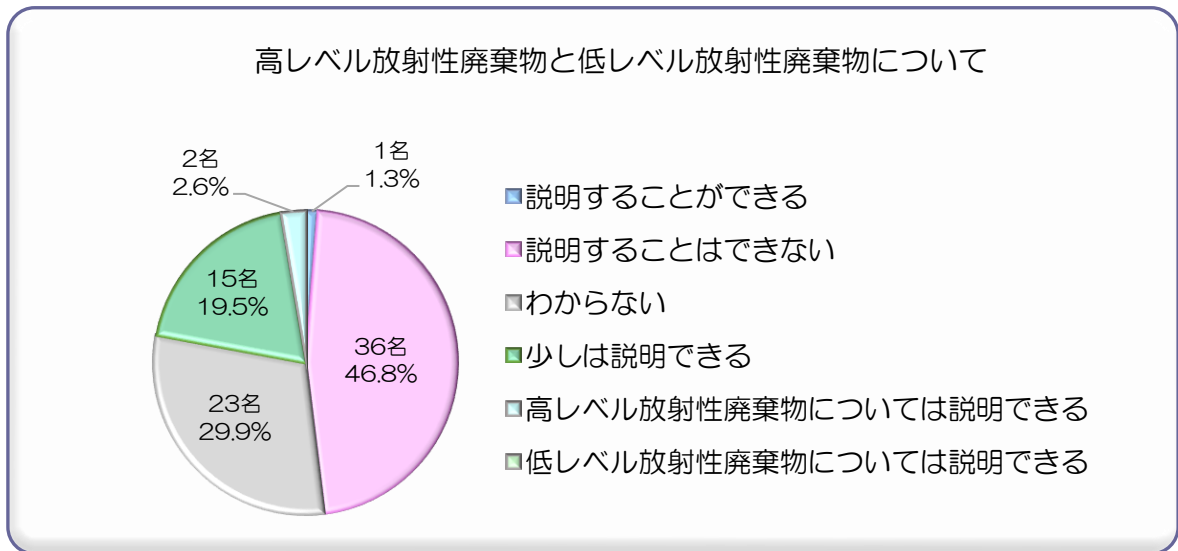
約9割が「関係している」と回答しており、「関係していない」との回答はなかった。



#### (4) 高レベル放射性廃棄物と低レベル放射性廃棄物について

説明することができる	1名 (1.3%)
説明することはできない	36名 (46.8%)
わからない	23名 (29.9%)
少しは説明できる	15名 (19.5%)
高レベル放射性廃棄物については説明できる	2名 (2.6%)
低レベル放射性廃棄物については説明できる	0名 (0.0%)

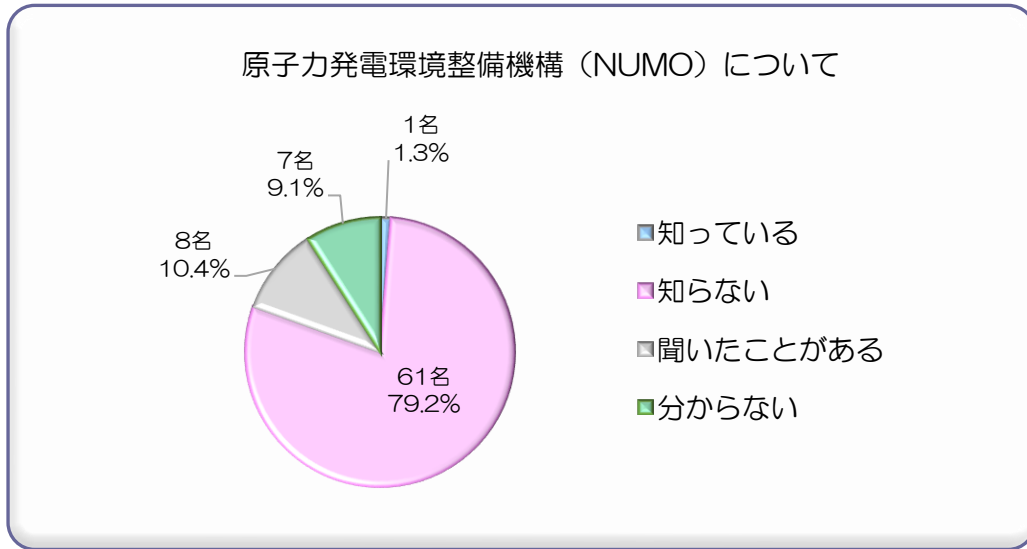
「説明することができる」との回答は1名のみで、「説明することはできない」との回答が約5割と一番多く、「わからない」との回答が約3割、「少しは説明できる」との回答が約2割であった。



### (5) 原子力発電環境整備機構 (NUMO) について

知っている	1名 (1.3%)
知らない	61名 (79.2%)
聞いたことがある	8名 (10.4%)
分からない	7名 (9.1%)

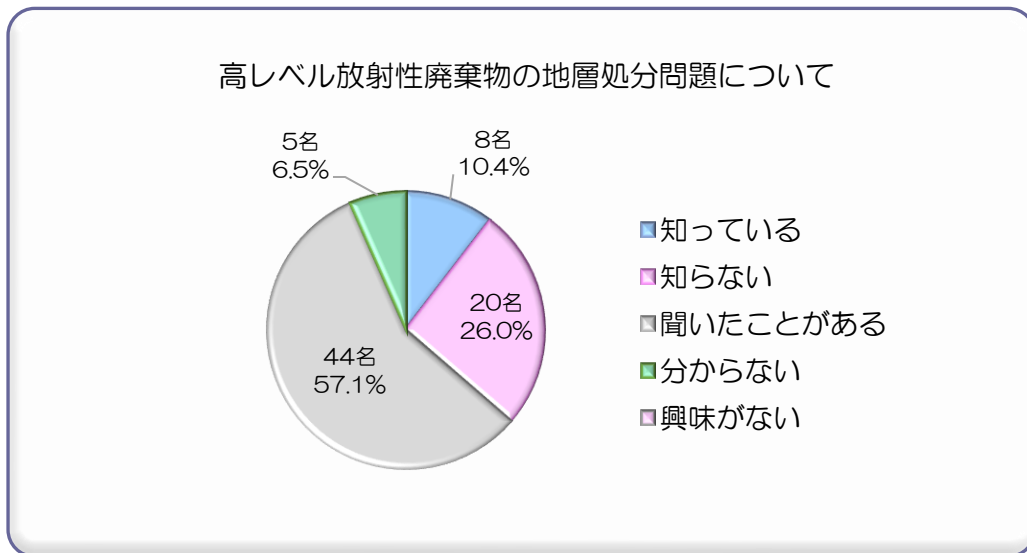
約 8 割が「知らない」、約 2 割が「聞いたことがある」又は「分からない」と回答している。



### (6) 高レベル放射性廃棄物の地層処分問題について

知っている	8名 (10.4%)
知らない	20名 (26.0%)
聞いたことがある	44名 (57.1%)
分からない	5名 (6.5%)
興味がない	0名 (0.0%)

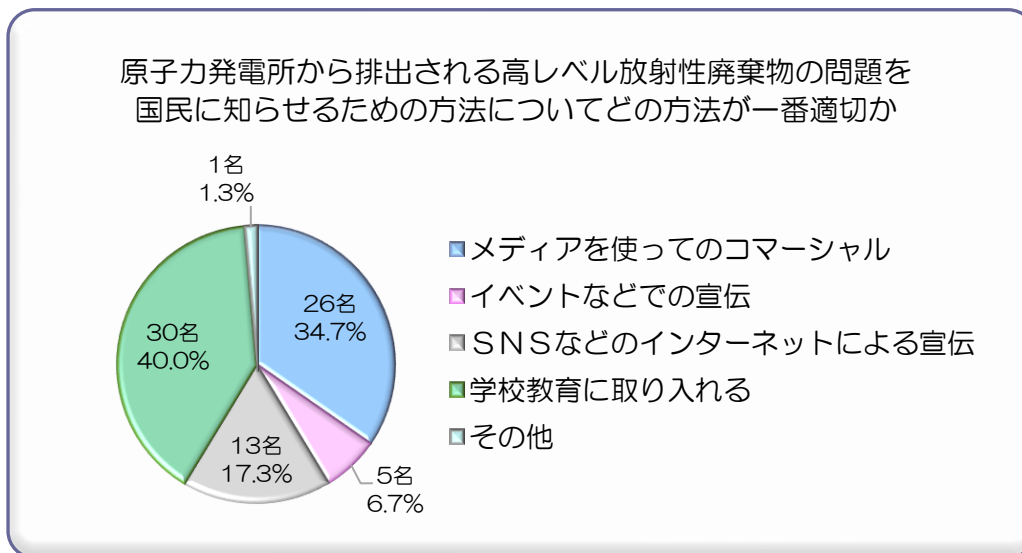
「聞いたことがある」との回答が約6割と一番多く、「知らない」との回答が約3割、「知っている」との回答が約1割であった。



(7) 原子力発電所から排出される高レベル放射性廃棄物の問題を国民に知らせるための方法についてどの方法が一番適切か

メディアを使ってのコマーシャル	26名 (34.7%)
イベントなどでの宣伝	5名 (6.7%)
SNSなどのインターネットによる宣伝	13名 (17.3%)
学校教育に取り入れる	30名 (40.0%)
その他	1名 (1.3%)

「学校教育に取り入れる」との回答が4割と一番多く、「メディアを使ってのコマーシャル」との回答が約3割5分、「SNSなどのインターネットによる宣伝」との回答が約2割であった。



(8) 日本の原子力政策についてあなたの考えを 100 字以内で述べてください。

- ・ 私は原子力発電の再稼働について賛成。これからもリスクと隣合わせで生きていかないといけないと思う。
- ・ 私は、電力安定のために、いち早く原発を再稼働させるべきだと考えている。今日の話聞いて災害被害の対策さえ施せば、再稼働は可能ではないかと僕は思っている。
- ・ 原子力発電には確かに安全面の問題があるが、他の発電方法に比べて安定した電力が供給できるといったメリットがある。国は、補助金などの政策をもっと進めるべきだと思う。
- ・ 原子力政策においては様々な意見があるが、私は原子力発電に賛成する。原子力発電は特性から海岸沿いに近く、東日本大震災の時の様に大きな被害を受けるというリスクも当然ある。しかし、生活が豊かになり、電気を大量に使う生活をしている現在、原子力に変わる発電が出てこない限り反対できない。
- ・ 自分は原子力発電に賛成だ。やっぱり太陽光、地熱バイオマスなどでは、十分な発電が賄えないことや、島国という日本の立地や日本の経済の発展のことを考えれば、安定した電力が必要だと思うので賛成。
- ・ 十分に安全性を審査した上で、原子力発電所を稼働してもらいたい。
- ・ 危険性の問題はあるかも知れないが、現実的な今日のエネルギー問題を考えると必要だと思う。火力発電には限りがあり、日本は島国なので、ヨーロッパのように隣国から電気を買うということも出来ない。
- ・ マスコミでは廃止の方向を強く報道しているが、自分は多少のリスクをおったとしても再開の方向に考えていった方がいいと思う。
- ・ 原子力が動いていない今、電気料金が上がっている。つまり火力の方が発電量当たりの単価が高いと考えられる。原子力発電は自分が考えるより安全なのではと思った。
- ・ これから生まれてくる子供の生活環境をこれ以上悪くする必要がない。つまり、石油、石炭などを使用した発電方法を止めるべき。パリ協定のもと、これ以上温暖化を進めるべきでない。
- ・ 私は原子力政策に賛成である。理由としては、日本の自給率が現時点で低く、何かあった時に国内のエネルギーの維持が不可能になると考えるからだ。だから、今後、電力を蓄える技術が出来るまでの間は原子力に頼るべきなのではないか。
- ・ 今回の話を聞いて放射能や放射線の違いなど、知らないことがまだまだ多くあることに気づいた。また、安定して供給できる発電エネルギーが見つからない現在としては、原子力発電所を稼働するべきだと思う。
- ・ 原子力の再稼働に賛成である。もちろん、再稼働によるメリットはあると思うが、安全面について、これから検討して事故防止に努めるべきだと考える。
- ・ 原子力発電はエネルギー問題を改善していく重要な発電方法であるので、活用して欲しいと思う。今後としては、原子力のリスクを減らして出来るだけ安全に使用することが出来るようにしてほしい。
- ・ 原子力発電の再稼働を反対と言うのは簡単だけど、原子力発電の代わりに発電方法を今より増やすのは大変なので、あまり簡単な問題ではないなと思った。
- ・ 原子力発電の代わりに火力発電をすると、石油や天然ガスの供給不安もあるし、CO<sub>2</sub>の排出量も多く環境に悪く、電気料金も上がっていった悪い影響が多い。原子力発電は、冷やす、閉じ込めるなどの作業が上手くいかず放射線が漏れるなどの危険性もあるが、対策さえすれば防げると思うので、原子力発電所をたくさん止めず、火力発電だけに頼らないようにしてほしい。

- 原子力発電は恐ろしいものだと言われ続けてきたが、今日の講義を聞いて、その恐ろしさは少しは減った。原発対策は電力供給も大きいので、政策はそのまま進めて良いものだと考えた。
- 原子力発電は止めるべきではないと思う。しっかりとした管理と規制を行い、安全に使用できるようにすればいいだけで、逆に止めてしまうと電気料金が高くなったり、CO<sub>2</sub>が大量に出てデメリットしかないと思う。
- 古い施設は使わずに、新しく安全が確立された施設でのみ実施する。
- ドイツのように火力発電の燃料となる安い泥炭のようなものも、電力供給の豊富な隣国から電気を買うわけにはいかない日本は、原子力発電に頼らざるを得ないと思う。燃料コストのかかる日本で安定した電気を供給するには、原子力発電が最も適しており、古い火力発電所を無理に稼働するよりも原子力発電で電気を作った方が安全なのではないかと思った。
- 原子力は危ないというイメージを無くすることが大切だと思う。福島に行った時も、ニュースで流れていることが風評被害だと分かった。そのような世の中のイメージを変えれば、今後も使えると思う。
- 原子力発電所はウランを使っていて放射性物質をまき散らす可能性があり、とても危険だが、日本の電力の約 30%を補っていて、CO<sub>2</sub> 排出量も設備、運用でしかかからず、自然エネルギーの発電とほぼ変わらないという長所を持っている。発電所が壊れた時は、冷却や放射線の閉じ込めを行うようになっているので、その機能を維持出来ているのなら、稼働させても良いのではないかと思う。
- 私は日本の原子力政策について、賛成でもなく反対でもない。2013年3月11日に発生した東日本大震災の影響で福島の原子力発電所では事故が発生し、周りの住民に多大な被害をもたらした。一方、原子力発電所を無くして再生可能エネルギーに変換すると考えると、まだ時間もかかるし、お金もかなりの額になり、国民の負担が大きくなってしまう。



- 東日本大震災を通して設けられた安全基準は、事故が起これば人的被害はもちろん、自然環境に多大な影響が与えられるとわかっているのに、なぜ前もって厳しい基準を設定しなかったのか疑問に思った。
- 現段階ではまだ再生可能エネルギーを本電力として扱うことができないと知ったので、今は原子力発電所を稼働させるしかないと思うし、最終的には再生可能エネルギーが本電力として扱えるほど科学技術を進歩させる必要があると思った。
- 必要なエネルギーだが、危険性については不安がある。
- 原子力政策について、あまり詳しくは知らないが、発電に使用した放射性廃棄物が完全に無害な物になるまでに長い年月がかかるのに、具体的にどうするかを見出さないままにしているというニュースを見て、あまり現実的な政策は実行できないのかなと思った。放射線からの自分たちへの影響がどれほどのものかを国民がしっかり理解することが大切だと思う。
- 日本のエネルギー自給率は深刻である。したがって安定して高出力で燃料が少なく済み、長く発電できる原子力は日本では必要である。しかし、安全性が怪しく、大変処理に困る廃棄物が出る発電方式では何十年も動かせない。よって、現在の発電方式は「つなぎ」として運用し、新しい発電方法、方式を開発すべきと考える。
- 原子力発電があれば国民にとっていいことがたくさんあるけど、その代償が大きい。原子力について学ぶ機会は少なく、興味のあるとき自分で調べることしかできない。これから再稼働をしていくなら、その前に原子力についての国民の理解を深めるべきだ。
- 原子力発電所が再稼働を少しずつし始めているけれど、今後は再生可能エネルギーもうまく使って、電力を産み出していく必要があると思った。
- 原子力のことについて、メディアや講義などで話を聞くが、結局、私達一般人に何ができるかわからない。生活が良くなるように待つことしかできないのか。
- 原子力はとても危険なものなので、福島のような事故が起きないように、やり過ぎだと思われるくらいの対策をして再稼働をするべきだと思う。
- 専門外の知識のため、専門的に学ぶ方々に頑張ってもらいたい。他のエネルギーで賄うことが出来るのであれば、そちらを使ってほしいし、賄うことが出来ないのであれば、使えばいいと思う。
- 日本のエネルギー自給率の低さを見ると、原子力に頼らざるを得ない状況である。しかし、原子力発電を続けて行くことのマイナス面に目を背けず、原子力に頼らないで生活を送れるよう政策を行うべきだと思う。
- 原子力発電の安全性は完全ではないということ。福島原発のような事故は、同じ状況になってもおきないということを知り、安心は出来たのだが、完全に安全ではないので、より安全性を高めてほしい。
- 先日も原発再稼働を知事が認めたが、原発を利用した後の、後処理の問題も解決されないまま再開するのはどうかと思う。
- 周辺を海に囲まれ簡単には電力を輸入できない日本にとって、エネルギーミックスを保つことは重要だと思う。しかし、神の視点を持たない私たちにとって、今まで原発はほぼ安全だったから、これからも大丈夫だと安易に考えるのはよくないと感じた。常識はいつでも覆される可能性があるのだから。

- 原子力発電があればエネルギー自給率が上がるかもしれないが、もし、事故が起これば、ゴーストタウン化する町などが現れる可能性があるので、出来るだけ他のエネルギーを使う方向へ持っていった方が良いと思う。
- しっかりとした政策を行ってほしい。なぜなら、政府の政策はお金がかかるばかりでありあまり効果がなかったりする。加えて、国民に負担がかかるからだ。
- 原子力発電所を停止するのは、エネルギー的にも働いている方々のためにも難しいと思う。しかし、福島事故後、立ち入り禁止になっている所も解除されていないのに、どんどん原子力発電所を稼働していくより、まず福島の原発調査をもっとすべきだと思う。
- 学校であまり原子力について学ぶ機会がなかったので、よく分からないことが多い。東日本大震災が起きてから、原子力発電は危ないと言われているけれど、放射線がまかれたら何が危ないのかとか、どんな影響があるのかとか、しっかり教えてほしい。
- まず、原子力発電の安全性については、大震災でこれほどの被害が出ることを誰も予測しておらず、人体にも影響が出て、そして、このまま安全に供給できる電気を発電できないなら、他国の電力に頼るしかないと思う。
- 安全性を重視し、必要以上の原子力発電を行わない。安全性が確立した時に、火力発電に並ぶ発電として使っていくべきだと思う。
- 東日本大震災の事故があって以来、原子力発電を積極的に稼働させると国民を不安にさせると思う。かといって、原発を完全に止めて電力を供給できる目処はたっていない。よって、今の状況を保ちながら、太陽光、風力などを主流の発電にして行き、少しずつ原子力を減らして行けば良いと思う。
- 原子力発電所が災害に強いように補強すること。

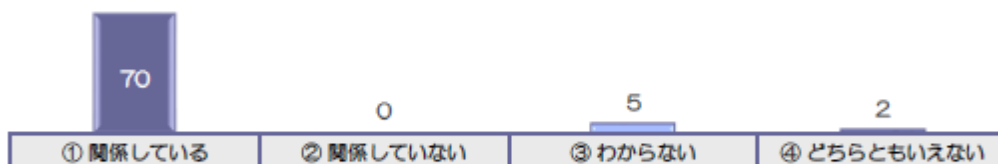
## SNW対話イン宮崎大学2017（4/25開催）事後アンケート結果

（回収数：78名、設問(3)(8)除く）

### (1) 日本における原子力発電所の再稼働について



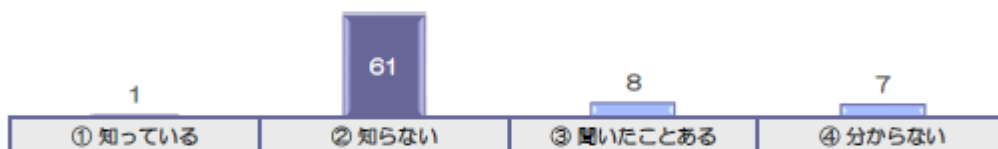
### (2) 原子力発電所と電力の関係性について



### (4) 高レベル放射性廃棄物と低レベル放射性廃棄物について



### (5) 原子力発電環境整備機構（NUMO）について



### (6) 高レベル放射性廃棄物の地層処分問題について



### (7) 原子力発電所から排出される高レベル放射性廃棄物の問題を国民に知らせるための方法についてどの方法が一番適切か

